

スクール・ミッション

- 地域の拠点校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成
- 将来、地域社会及び国際社会、科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成

学校の三つの教育方針（スクール・ポリシー）

1. 入学者受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- 基礎・基本を重視した学校の学習に前向きに取り組むとともに、大学等の進学を目指し努力する生徒
- 学習だけでなく、部活動や生徒会活動、ボランティア活動などあらゆる活動にも前向きに取り組む生徒

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- グローバル化社会に対応できるように、外国語によるコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、2年生全員の海外研修を行う。また、米国及び中国との姉妹校プログラムに基づき、両国への短期研修等を実施する。
- 一単位時間60分の授業を行うとともに、各種講座等を実施し、希望進路の実現を図る。
- 文部科学省SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定を受けての実践と研究を推進する。SS課題探究や「総合的な探究の時間」などの探究活動の充実を図る。
- Society5.0で実現する社会に対応するため、情報及び情報手段を主体的に選択し活用できる情報活用能力の育成を目指す。
- 各学科の特色を活かした教育活動を行う。
 - ・国際文科：国内及び国際社会で活躍できる人材の育成を目指すため、英語コース及び中国語コースを設置し、「ディベート・ディスカッション」・「エッセイライティング」・「中国語」等の特色ある科目を学習して、外国語による実践的コミュニケーション能力の育成を図る。
 - ・理数科：数学及び自然科学における基本的な概念、原理、法則等について系統的に学習するとともに「課題研究」等の特色ある科目をとおして問題解決能力や科学的思考力等を育成する。
 - ・普通科：多様化した生徒の特性・進路等に応じた教育を目指すとともに生徒一人一人の個性の伸長と自立を図る。そのために個々の生徒の進路にあった多岐にわたる選択科目を設置する。

3. 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

グローバル化・情報化の進展など変化の著しい社会において柔軟に対応し、たくましく主体的に生き、人々から信頼され、地域社会や国際社会、科学技術分野の発展に貢献できる心豊かな人材の育成を目指す。そのため、本校での教育活動等を通して、次の7つの力を育成する。

育成する力と生徒像

- ①ことばの力…ことばを正しく理解し、適切に使用して表現する生徒
- ②想像力…TP0に応じて状況をイメージし、的確な行動や発言ができる生徒
- ③論理的判断力…学んで得たものをまずは受け止め、理解したうえで論理的に判断する生徒
- ④情報活用能力…学んで得たものを有機的につなげる生徒
- ⑤自己マネジメント力…先を見通して、時間・行動・所有物を適切にマネジメント（管理・計画）する生徒
- ⑥課題発見・解決力…日頃から自発的・協働的に、具体的な課題を発見し、解決に向けて行動する生徒
- ⑦創造力…これまでに培ってきたものを活かして、より良いものを作り出す生徒